

うるかむ

WELCOME YAMAGATA! COMMUNICATION FREE PAPER.



山形に避難されている方へ伝えたいメッセージ

CONTENTS

- ・一面 From 福島 浪江町からの桜レポート
- ・From 山形 フラワーアレンジメント体験
- ・From 福島 ふくしま復興支援フォーラム
- ・みんなの声 ・しあわせココロの作り方 (56)
- ・[special Interview] 山形市 山形浪江コスモス会 岡田有一さん
- ・おすすめ情報 ・レシピ ・編集部より
- ・団体紹介 いわて内陸避難者支援センター

第84号

つながろう! ささえあおう!
復興支援プロジェクトやまがた
TEL 023-674-7311
E-mail kizuna@yamagata1.jp
発行数: 2,600部

From 福島

浪江町からの桜レポート

寄稿



今春から、避難解除準備区域の指定が解除になった福島県双葉郡浪江町。4月に入っても肌寒い日が続きましたが、中旬頃には桜の花が次々と咲き始め、あっという間に満開になりました。

居住可能とはいえ、まだまだ実際に町内で見かけるのは復興工事関係の職員や作業員の方が多いように感じますが、解除前から営業しているローソンや浪江町仮設商業共同店舗施設「まち・なみ・まるしえ」では、片付けや居住のために戻ってきた浪江町民の皆さんをお見かけするようになりました。あちこちで「久しぶり!」「元気にしてたか?」と言った再会を喜ぶ声を時々耳にすることがあるのですが、居合わせた私までなんだか嬉しい気持ちになってしまいます。

「請戸川リバーライン」と名付けられ

ている遊歩道沿いの桜並木は、4月の第三週には満開となり、私が見に行った日も、お孫さんを連れられた年配の方などがお花見に来ていました。暖かい日差しの中、青空を背景にハラハラと風に吹かれて舞い散る桜の花びらを眺めていると、ここが6年もの間、自由に立ち入ることができなかつた場所だったことが信じられない気持ちになりました。もちろん浪江町内には未だに放射線量が高く立ち入りできない地域もありますが、この桜並木ですが、この桜並木周辺は撮影当日0.177μSv/hでした。「戻る」「戻らない」のことはちよつと脇に置いて、桜を見に来れるようになって良かったなあと思えたひと時でした。



(南相馬市S)

KMA スーパーコンサートツアー 2017 避難者ご招待!!

デビュー5周年の絢音をゲストに迎え、加藤マチャアキが魅せるレインボーでダンサンプルな世界をお楽しみください。

【日 時】7月16日(日) 開場 14:00 ~ 開演 15:00 ~

【会 場】高島町文化ホール まほら (東置賜郡高島町大字高島 323)

【ゲスト】絢音 【出 演】高橋ひろみ、メロメ、咲良さくら、玉真義雄(元劇団四季) 他

<避難者招待券 お申込み方法>

抽選次第、発送をもってお知らせいたします。申込み締切り: 2017年6月30日(金)

- 1) ハガキでの応募: 添付の「読者アンケート」または「みんなの声大募集!」のはがきに①氏名 ②住所 ③電話番号 ④避難元市町村、余白に「スーパーコンサート招待券申込み」とチケット枚数を書いてお送りください。切手は不要です。
- 2) メールでの応募: 下記メールアドレスにタイトル「スーパーコンサート招待券申込み」①~⑤の内容をお送りください。①氏名 ②住所 ③電話番号 ④避難元市町村 ⑤チケット枚数
- 3) 電話での応募: 下記電話番号にチケット希望とお申込み下さい。

【申込み・お問合せ】復興ボランティア支援センターやまがた

TEL: 023-674-7311 (月~金 9:00 ~ 17:00) E-mail: kizuna@yamagata1.jp

二人の歌声があなたを癒し、そして心癒る。
KMA スーパーコンサートツアー 2017
Thank you

デビュー5周年の絢音をゲストに迎え、加藤マチャアキが魅せるレインボーでダンサンプルな世界をお楽しみください

2017 4/30(日) 18:00 open/18:30 start	高島町文化ホール まほら
2017 5/20(土) 18:00 open/18:30 start	高島町文化ホール まほら
2017 7/16(日) 14:00 open/15:00 start	高島町文化ホール まほら

チケット料金: 一般 3,500円/前日4,000円、小中高 1,500円/前日2,000円、未就学児無料
※当日券は、公演当日10時以降受付。当日券は、当日10時以降受付。当日券は、当日10時以降受付。

From 山形

第1回サロン「この指とくまれっ！」 フラワーアレンジメント体験



米沢市社会福祉協議会では今年度より交流サロンを開催します。第1回目が4月25日(火)に開催され、フラワーアレンジメント体験に16名が参加しました。この日はお天気も良く、窓の外には満開の桜を眺めつつ、テーブルにはカーネーションやガーベラなど色とりどりの切り花が並べられました。

講習では元お花屋さんを営んでいた上野寛さんを講師に、「花の生け方」の基本を教わりました。台座には生け花用のスポンジを使用し、花の茎

は斜めにカットします。緑の葉っぱで外枠を作り、中心には華やかな花を挿し厚みをもたせます。花の配置は正三角形ではなく「不等辺三角形」にすると立体感が生まれる、などのコツを聞いて実践を開始しました。参加者は、あれこれ試しバランスを取りながら一本ずつ丁寧に花を挿し、個性あふれる作品を作り上げていました。

終了後は、お茶とお団子を頂きながらお花見気分を満喫し、おしゃべりにも花が咲いていました。日々の生活にお花は欠かせませんね。次回サロンもお楽しみに。

●サロン「この指とくまれっ」のご案内
2ヶ月に1回、偶数月に開催します。気軽に集えるお茶会の他、趣味活動や日帰り旅行なども企画予定です。みなさんと交流や親睦を深めてみませんか。



【お問合せ】
米沢市社会福祉協議会
生活支援相談員まで
TEL: 0238-24-7881

From 福島

ふくしま復興支援フォーラム 「榊葉町の取り組み」



は現在、以前の人口の約20%にあたる約1500人が暮らし、商店街や診療所、銀行も再開したほか、今年4月にはこども園や保育園が再開し、子どもたちを受け入れる教育への支援や、産業団地の整備、農業の復興に力を入れ始めています。「復興・復旧は何が欠けてもだめ、全体のバランスを大切にしながら、元気になったという姿を全国に発信して、言い続けていきたい。」と町長は力強く語りました。

ふくしま復興支援フォーラムは入場無料、予約不要でご参加いただけます。今後の予定はHPからご覧いただけますので、関心のある方はぜひご覧ください。

4月25日(火) 福島市アクティブシニアセンターA O Z (アオウゼ) を会場に「第110回 ふくしま復興支援フォーラム」が行われました。このフォーラムは2011年11月から弁護士や大学教授を中心とした7名の有志によって開催され、毎月多様なゲストを招いた支援の報告が行われてきました。

今回は全町避難から4年半後の2015年9月に避難指示区域が解除された榊葉町の町長が招かれ、解除地域の中でもいち早く復興を目指す町の取り組みが紹介されました。榊葉町で



ふくしま復興支援フォーラム
HP: <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>

福島で起こった原発問題…こうなつてしまった今立ち直り、元の姿以上の福島をしらしめることが大切な気がします。1歩1歩…
(福島市→米沢市・40代女性)

まだなれない事がありますがなんとか頑張っています。何か一つでも出来ればと思ってやっている…これもまわりにいる人のおかげ。
(浪江町→山形市・60代男性)



今日は喜多方市山都町の友人から、福寿草、雪割草、エビネを頂き移植。(福島の自宅の鉢物の山野草は水やり出来ず全滅) 山菜のごごみ、フキのトウ、アスパラも食す。春だナアー!!
(南相馬市→米沢市・70代男性)



近所の方にお誘いをうけ、ちぎり絵を始めました。まわりの方のやさしさに感謝です。
(浪江町→山形市・60代女性)

避難されている方々と接し、震災によって様々な辛い出来事が起き、生活が一変してしまった方々がいることを痛感しています。山形に避難して、嫌な思いをされた方もいらっしゃると思います。夏は暑いのに冬は寒くて雪が多い!閉鎖的な雰囲気、「あの人福島から来たんだ」という目…皆さんこんなに長い避難生活になるとは思ってもいらっしゃらなかったでしょう。でも、安心した穏やかな生活を望んで避難生活を継続する方がいる限り、皆さんに寄り添っていけたらと思っています。
皆さんを応援し支えたいと思う山形県民は今もたくさんいます。一日も早く、皆さんが望んだ生活を送れますよう、願っています。
(山形市民・30代女性)

いろいろあるけれど、何事にも後悔のない自信をもってすごしましょうね!自分にも言い聞かせてます。
(南相馬市→山形市)

「みんなの声」に
つぶやきを送ろう

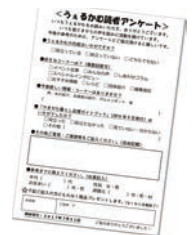


読者アンケートの回答をお願いします

「うるかむ」のよりよい紙面づくりのために、『うるかむ読者アンケート』のハガキを同封しました。「こんなコーナーがほしい!」等、みなさまからのご意見ご感想をお寄せください。お名前、ご住所をご記入の方には粗品をプレゼントします。(なくなり次第終了)
アンケートの締切は29年7月31日とさせていただきます。
※専用はがきは切手不要です。そのままポストに投函してください。



ご協力を
よろしくお願いします



ミアワセ
コラム

しあわせコロのつくりかた
56

以前、新幹線で、咳き込む男性に、のど飴をいくつか手渡した。
驚いた顔の後に続く『ありがとう』と照れ笑い。
ほんのちよつとの思いやりが生み出す効果は、思いのほか大きいんだ。
今日、偶然にも、同じ新幹線に乗り合わせている彼は、私を覚えていなかったけど、デッキに立っていた見知らぬ私に、ティッシュをくれたの。
クシャミが止まらない大きなマスクをしてる私にね。
「ありがとう」を返したら、照れたように、「花粉症、大変ですね。」とひと言。
「前に、ボクも咳き込んでいた時、知らない人からのど飴もらって助かったんで。」とふた言。そう言って、彼は自分の座席へ。
嬉しいね。
ありがたいね。

カウンセラー・スピリチュアルケアアドバイザー 志村友理

カウンセリング・ルーム メール相談
ryokusuinomori@yahoo.co.jp



Special Interview

山形浪江コスモス会 代表

おかだ ゆういち
山形市 岡田 有一 さん



Q 震災前はどこにいましたか？

浪江町出身です。以前は線路関係の仕事をしていました。

震災以降は山形にきた後、一度は山梨県に住みましたが、平成27年秋にまた山形に戻って来て、いつまでも悩んでいても前に進めないと思って、家も購入しました。山形に定住する様になると思います。小学校1年生から高校生までの孫が4人います。

Q 今はどんな事をして過ごしていますか？

もともと浪江町にいる時から何かあった時に、輸入がでなくなれば自分で作物を作っていくかといかない、またTPPなどとなると、栽培方法なども根本から考えないといけない、という考えがあつて、米作りをしていました。組合を作つて、年をとつても協力して田んぼを守るような仕組みを作つたり、震災の7、8年前からできるだけ農業を使わず、手をかけなくて良い方法を勉強していました。

避難してからは、みんな健康に関して困る事があると思い、ストレスの勉強、酵素の勉強をやつてみたり、避難者に畑を開放している支援のパンフレットを見て参加してみたのがきっかけで、畑を始めました。虫の勉強、草の勉強、育て方、気候を勉強していくと、だんだん無農薬栽培につながってきました。植物は負担をかけなくなると、免疫があがつたり、植物と人の健康の勉強は繋がるころがいつばいある。色んな仕組みが分かつてくると、一番はお金をかけず、手

間もかけなくても良いような方法が分かつて来ます。

今は自分で畑を借りて、夏に向けて草が出ない方法を実験しています。草が出たら、根っこがどこまで生えていて、どうやったら無くなるか、研究してみる。やるんだつたらどことんやつてみるのが面白い。本当に基本的な事が分かつてくると、応用もできるようになります。

農業は奥が深い。どうやったら手をかけないで自然に作物を作れるか、裏付けをいつも考えています。「もつと何かつながるものがあるんじゃないか」と掘り下げて考えたり、探し続けるのが、今一番楽しい仕事です。

Q 「山形浪江コスモス会」について教えてください

浪江町の支援員をしていた人と一緒に、きつとこれから支援がなくなつていつて大変だから、浪江の会を作ろうという話になつて、「山形浪江コスモス会」という名前の集まりを作りました。2、3ヶ月に1回公民館を借りて、手作りの料理を持ち寄り、会食をしながら故郷の言葉で会話を楽しんでいきます。



毎回山形市や天童市、上市市に住んでいる浪江町出身の人達で12人前後で集まっています。やつぱり地元の良い言葉で話せるのは良いですね。喋

り出すと止まらなくて、あつという間に時間が過ぎていきま

す。特に大きな宣伝はしていませんが、知り合いから知り合いへ、人伝いに広がっています。

出てこられる人は大丈夫だけど、家から出ない人が心配です。個々、色々な事

があります。あまりおしゃべりが好きでない方も、外出があまり好きでない人も、ここ山形での「山形浪江オーケストラ」の一員だと思つていきます。どの様な人にも必ず1つ2つは良き事があるものです。どこの街に住んでも関係なく、集まってください。「山形浪江コスモス会」に参加したい人がいれば、ぜひ連絡をしてください。

避難者の方へのメッセージ

「ここ山形でお世話になつている以上、ここで何かを見つけて、残していききたい。良いものを一人で持つているんじゃないかと、みんな協力して知恵や持つっている技術を出し合つて、地域にも生かせるようにしていきたいです。」



☆「山形浪江コスモス会」に参加したい方は、下記までご連絡ください。岡田さんとおつなぎします。

【お問合せ】

復興ボランティア支援センターやまがた
TEL : 023-674-7311 (月 - 金 9:00 ~ 17:00)
E-mail : kizuna@yamagata1.jp

おすすめ情報

山形で暮らす避難者の皆様へ 今後の暮らし相談会

「このまま山形で生活したい」「避難元に帰りたい」と考えている避難者のための相談会を開催します。

移住・就職・法律・住まい・帰還・生活・健康等に関する個別相談ブースのほか、福島県甲状腺検査説明会や移住者とのフリートークも開催します。出入り自由の相談会です。ご都合のよい時間にご参加ください。

日時・場所：6月24日（土）11:00～15:00 山形会場 山形市総合福祉センター（山形市城西町 2-2-22）

6月25日（日）11:00～15:00 米沢会場 置賜総合文化センター（米沢市金池 3-1-14）

参加費：無料 託児付（要予約） 主催：今後の暮らし相談会実行委員会

【お申込み・お問合せ】山形県環境エネルギー部危機管理・くらし安心局危機管理課 復興・避難者支援室

TEL：023-630-3100 FAX：023-625-1625 E-mail：Lifeline1@pref.yamagata.jp



健康な野菜・美味しい果物を つくってみませんか？

自然と人間を学ぶ会では、岩手・宮城・福島の方々と一緒に土に触れ、交流し、成長した作物をお持ちいただく取り組みをしています。有機農法の美味しい野菜を育てながら草取りで汗を流し、心も身体もリフレッシュしませんか？

【収穫物】

6月：スナックえんどう、春大根、ほうれん草

7月：かぼちゃ、夏トマト、きゅうり、オクラ、ナス

【畑の場所】山形市松原

☆畑の場所をご案内しますので、参加の前日までにお電話ください。

【お問合せ】

自然と人間を学ぶ会 佐藤

TEL：023-641-7140



「伊達もんもの家」からのご案内

●帰還された方の不安や心配事の各種相談

毎週月曜日～金曜日 10:00～16:00

お子様のおもちゃ等を和室にご用意してありますのでお子様連れの方も安心してご来館下さい。

●フェイスブックページを近日開設します

フェイスブックを活用しイベント情報や保養情報等を皆さんへ情報を配信します。

近日中に公開致しますのでご期待下さい。

●帰還ママと地域ママによる楽しい交流活動

帰還された皆さんと共に料理サロン、ヨガや各種勉強会を開催しています。

毎月2回程度開催予定です。

※詳しくは伊達もんもの家 HP からご覧下さい。

【お問合せ】

NPO 法人りょうぜん里山がっこう「伊達もんもの家」

〒960-0606 福島県伊達市保原町鉄砲町7

TEL：080-3339-0657 / <http://date-satoyama.com>

子ども食堂「楽（らく）」

みんなで食卓を囲んで話を花を咲かせたり、ゲームや時には宿題をしたりして、楽しいひとときを過ごしましょう。

宿題や勉強をしたい方は、食堂開店の1時間前に教材を持って来て下さい。

日時：6月12日（月）夜 17:30～ 8月28日（月）夜 17:30～

7月10日（月）夜 17:30～ 9月25日（月）夜 17:30～

7月31日（月）昼 11:30～

場所：むつみ保育園2階集会所（山形市小白川町 5-18-7）

費用：無料

対象：子どもとその保護者や一人暮らしの高齢者

定員：20名（要申込み）先着順

締切：開催日の2日前

【お申込み・お問合せ】

山形てのひら支援ネット TEL：090-8782-9457（安達） / 090-2365-1208（西上） E-mail：kodomo.s.raku@gmail.com



日時・場所：6月17日（土）10:00～17:00

文翔館前・市役所前大通り（歩行者天国）

七日町大通り（歩行者天国）

6月18日（日）10:00～16:00

文翔館前・市役所前大通り（歩行者天国）

※山形県庁から会場までの無料シャトルバスが運行します。

【お問合せ】日本一さくらんぼ祭り実行委員会

（山形県庁 観光立県推進課） TEL：023-630-2373

詳しくはHPにてご覧いただけます

（<http://www.sakuranbomatsuri.jp/>）



【おもなイベント】

日本一巨大な流しさくらんぼ

さくらんぼ種飛ばしニコニコ相性コンテスト

山形のさくらんぼ すこだまつ振る舞い

仮装でさくらんぼパーティー

その他多数のイベントを開催します。



ひと休み

最上紅花若菜と豚肉のかき揚げ

レシピ提供：在来作物案内人 鈴木淳子さん

<材料>

- ・最上紅花若菜 100g
- ・豚こま切れ肉 300g
- ・小麦粉 1カップ
- ・卵 1個
- ・揚げ油
- [A] カレー粉 小さじ 1/2
- 塩 小さじ 1

<作り方>

- ① 最上紅花若菜はざく切りにする。豚肉は小さめに切る。
- ② 卵は溶きほぐして、冷水と合わせて1/2カップにする。
- ③ ボウルに小麦粉を入れ、②を加え、更に①を加えてざっくり混ぜる。
- ④ 油を170度に熱し、③を適量取り静かに落として入れて揚げる。
- ⑤ Aを混ぜ合わせてカレー塩でいただく。



☆ブログ「鈴木淳子の楽しむ食育」もご覧ください♪
<http://ameblo.jp/hanamizuki-junko/>

★紅花若菜が手に入らない場合は、ほうれん草でも代用できます。

団体紹介

いわて内陸避難者支援センター



東日本大震災により内陸や県外に避難し、今後の生活再建方法を決めかねている方に対し、安心して暮らせる住まいの確保に向け、相談・支援を行います。生活再建に必要な各種制度の紹介や、福祉サービス利用に向けてのお手伝いも行います。岩手県が設置し、平成28年5月20日より活動しています。

(受託団体：特定非営利活動法人インクルいわて)

【おもな業務】

(1) 内陸避難者等の意向把握業務

市町村の依頼により、内陸及び県外避難者の住まいの意向把握を電話や個別訪問等により行い、意向や恒久住宅への移行に当たっての課題について、被災元市町村とも連携します。

(2) 相談支援業務

意向を決めかねている被災者や他方支援が必要な被災者からの相談を受け、個別支援計画を作成し、課題解決に向けて関係機関へ、つなぐなどの支援を行うとともに、恒久住宅への移行までの支援を行います。なお、相談は来所、訪問、電話いずれも可能です。

岩手県から山形県に避難された方のご相談にも応じます。お気軽にどうぞ。

例えばこんなお手伝いをします

- ・自宅再建にあたり、生活全般の困りごとの整理
- ・収入に見合った物件探しのお手伝い
- ・各種手続きや分からないことのサポート
- ※転居・移転に関する契約手続きの代行や保証、引越し作業を行う機関ではありませんので、ご了承ください。

お問合せはこちら

いわて内陸避難者支援センター

受付時間：9：00～17：00（日、祝日、年末年始を除く）

〒020-0063 岩手県盛岡市材木町3-5 TEL：019-601-7640 FAX：019-601-7641

E-mail：info@sumaiansin.net HP：http://sumaiansin.net/

支援センターのサイトをご覧ください→ <http://kizuna.yamagata1.jp/>

編集部より

みなさまからの情報をお寄せください！

詳しくは復興ボランティア支援センターやまがたへ



次号は6月21日発行です

情報提供や寄稿は、6月7日までに
お寄せ下さい。
お待ちしております！



- * 数年ぶりに上山城の満開の桜を見に行きました。桜の下で食べたお団子は格別に美味しかったです。(正)
- * つばみで頂いたユリが開花。花は華麗でも、ユリの花粉って服に付くと落ちないですね。きれいなものほど執念深いのかも。(結)
- * 天気も変われば体調も変わりますね。最近習った万能飲み物は、桂皮(シナモン)とハチミツをよく混ぜて、お湯を注ぐ。シナモンは万能薬で風邪や安眠、美容にも効くそう！(多田)
- * 市民農園をしている知人からのおすそわけ野菜が今年もやって来ました。やつぱ採れたてはおいしいなあ…さくらんぼももうすぐだなあ。(海)

facebook



<http://www.facebook.com/fvsc.yamagata>

避難者向けフリーペーパー「うるかむ」

発行元：つなごろう！ささえあおう！

復興支援プロジェクトやまがた

〒990-2412 山形県山形市松山三丁目14番69号

「復興ボランティア支援センターやまがた」

TEL 023-674-7311 FAX 023-674-7312

E-mail kizuna@yamagata1.jp

WEB <http://kizuna.yamagata1.jp/>



<http://tsunagarou.net/>



「うるかむ」に掲載されたこれまでの記事のすべてと、リアルタイムなおすそめ情報、イベント情報、支援団体情報などを掲載しています。ぜひご覧ください。

